

公益財団法人 Uビジョン研究所

第8期 2023度 事業報告書

～2023年4月1日から2024年3月31日まで～

1 事業の成果

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法第5類に移行したことにより、社会活動は緩和されましたが、施設ではクラスターの発生とインフルエンザ、ノロウイルスなど様々な感染症が同時発生するなどの状況下におかれまして。

そのような現状の中でも、何とか徐々に事業を再開することができました。ホームページの刷新に補助金を取得することができましたが、一時的に費用の全額を支払うことになり、8月に臨時理事会を開催して基金より2,000,000円を引き出すことになりました。

今年度も職員一同頑張りましたが、決算は403,851円の赤字となりました。

順守すべき公益三基準はすべて満たすことができました。

賛助会員は、法人賛助会員10法人（前年度10法人）、個人賛助会員38人（前年度39人）となりました。

寄附金は、前年度より増えました。定期的・継続的にご寄附下さる方々がいらっしゃる、Uビジョン研究所の事業継続の大きな支援となっていること、また、公益法人としての社会貢献の役割を果たすことに非常に役立っています。

認証事業は、予定していた3施設が年度末までにギリギリで実施することができました。1施設は新型コロナウイルス感染拡大の時期で、1年10か月の延期の結果実施できました。

施設評価事業は、40%割引キャンペーンなど実施しましたが、残念ながら全く反応はありませんでした。

講師派遣事業の施設職員教育は、実施回数は44回（前年度31回）で日数69日（前年度64日）、予算の61.1%（前年度35.8%）の達成率となりました。

新型コロナウイルス感染症が長期間にわたり、職員教育のあり方が変化してきました。法人の経営が赤字（人材確保の厳しさと光熱費などの高騰などの影響）となっ

【第1号議案】

たところが増えたことや民間事業がオンラインで教育研修を実施するようになり、競争は激しくなってきました。

そのような現状でしたが、新しい法人の職員教育を実施することができたことと、自治体から虐待と認定された施設から改善計画への協力依頼があるなど2法人で職員教育を実施しました。他の職員教育との違いをアピールすることで少しですが復調の兆しを感じました。

市民セミナーの講師派遣では、「60歳から考える老後の人生設計～人生100年時代をより良く生き、より良い最期を迎えるために～」を兵庫県宝塚市の認証施設中山ちどりで開催することができました。反響が多く参加者も定員20人を超え33名となり、その後、会場となった施設では、施設見学者が多く、入居申し込み者も増えたとの報告を受けました。

（【第1号議案資料】職員研修（講師派遣）の推移 参照）

出版物は、2022年6月に「この一冊でわかる特別養護老人ホームを選ぶチェックポイント」を発行し、7月からAmazonで販売しました。売り上げは、2023年12月現在（1年5か月）で154冊販売し、売り上げ額が35,112円でした。

その他、直接電話で購入依頼があるなど、市民セミナーでは会場に冊子を持参し、直接販売することで完売しました。

現在、2024年度の介護報酬改定に伴い改訂版を作成中です。

2024年3月には、「認証・評価機関から見た特別養護老人ホームの虐待事案における発生要因の分析と対策・考察～2022年9月～2023年12月（1年4か月）までにメディアで報道された27件の虐待事案から～」発行し、無料で公開しました。より多くの事業者に参加にしてもらい、少しでも老人ホームから虐待を無くすことに寄与できることは公益法人としての役割です。

広告宣伝（PR）に関して、ホームページは12月までに開設する予定でしたが、業者の納品が遅れており、2024年5月に完成予定となりました。

SNSの発信は定期的に月に3回程度掲載して情報提供してきました。少しずつですがUビジョン研究所の認知度が広がっていると感じています。

認証事業や職員教育研修事業においては、パンフレットの見直しを行い、ようやく2月までに整理することができました。今後は、活用方法について検討していきます。

評価者勉強会の開催

評価者は実働者6名です。評価者の勉強会は認証の評価を左右するため重要であるため、今年度は毎月1回12回開催することができました。内容は議事録

【第1号議案】

としてまとめました。

事務局

事務局体制：常勤1名、非常勤週3回1名、非常勤1名（理事）
残業ゼロ、有給消化率100%、非常勤夏休み特別休暇3日間、
年末年始休暇12月25日～1月5日（12日間）

総括

前年度と同様に2年連続赤字となったことに対して申し訳なく思います。その予測を基に、今年度の下半期に、運営について見直すべきだと考えました。これまで、公益法人としての社会的役割を果たすことに重点をおいてきたことは評価できると思いますが、それだけでは継続と発展はないとの認識で、財政基盤の強化を図るため、これまで関わりのあった各方面の方に相談するなど事業の見直しを図る機会を作りました。

制度の方向性によって大きく影響を受ける法人を対象にしていることもあり、制度を活かした事業の方法を次年度で具体化していきたいと思っております。

【第1号議案】

2 事業の実施に関する事項

公益財団法人に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	事業費の額 (円)
寄附金	一般寄附金		2769,191
賛助会費	個人賛助会費 法人賛助会費	38 名 10 法人施設	200,000 800,000 計1,000,000
認証事業		3か所（風の村特養ホーム八街、みなみ風、龍生園） 抜き打ち調査3か所（ケアハウス中山ちどり、ケアホーム中山ちどり、龍生園）	9,903,948
講師派遣事業	職員教育事業 市民セミナー	風の村特養ホーム八街、サザン小川、ほのぼの西尾・篠木、いきいき福祉会、中山ちどり、みなみ風、カメラア会 中山ちどり	5,369,480
出版事業		1.「この一冊でわかる特別養護老人ホームを選ぶチェックポイント」継続販売 2.「認証・評価機関から見た特別養護老人ホームの虐待事案における発生要因の分析と対策・考察～2022年9月～2023年12月（1年4か月）までにメディアで報道された27件の虐待事案から～」	1. 261,518 2. 無料

以上